

座談会

次世代モノづくりの必要条件を探る

進展するグローバルモノづくり
業界トップが語る



自社の強み生かし果敢に挑戦

今が脱皮する良いチャンス

新しい加工技術についても提案していきたいと思います。実際、ソディックさんは高速加工機での微細加工技術を研究しています。材料の変化に対応していくことが大手メーカーに負けない加工技術を磨くためには必要だと考えてあります。

井水 日進工具では女性社員もたくさん活躍していますね。

後藤 当社の開発や生産の現場にいる約100人のうち30人は女性です。これからはモノづくりには、女性でも働きやすい環境を作ることが大切です。「モノづくり」の「女性」とは限りません。

男性」の「女性」には異なり、女性はきめ細かくいろいろなことに気がついてくれます。忍耐強く真面目で、男性とは違った切り口でモノをとらえる面があります。

モノづくりについて、当社は経営方針に「ソフト、ハード、ハート（心）」を掲げています。モノづくりの原点は「JINN」にあると思い

日本はモノづくりの分野で世界を引っ張っていますがなければならぬと思つています。例えばハイブリッドカーや電気自動車、燃料電池、航空機、精密部品、医療関連といった分野が伸びてくると思います。日本においては微細・精密加工技術がキーポイントになると考えています。日本が生き残つていける分野だと思います。当社はこの分野に特化し、工具の長寿命化やさまざまな材質への対応などお客様の要望に応えていきたいと思います。今は脱皮する良いチャンスだと私は思いました。

井水 本日お話をうかがい、「先手を打つて柔軟に対応する」「果敢に挑戦する」「自社の強みを生かす」といった点が皆さまの共通項だと感じました。本日はありがとうございました。

日本の強みは 微細・精密加工技術

井水 今後の海外進出を考えている中小企業に向けたアドバイスはありますか。

古川 中国に進出する場合は人的なコネクションが必要です。法的に異なる国なので、事前の学習や人脈の活用は重要です。タイへの進出は、日本で事業展開している企業であれば、誰でもできると思います。人口が増えておりまして、いつ進出しても遅いということはないのではないかでしょうか。

井水 他の企業の参考になればと思います。日進工具はグローバル化の

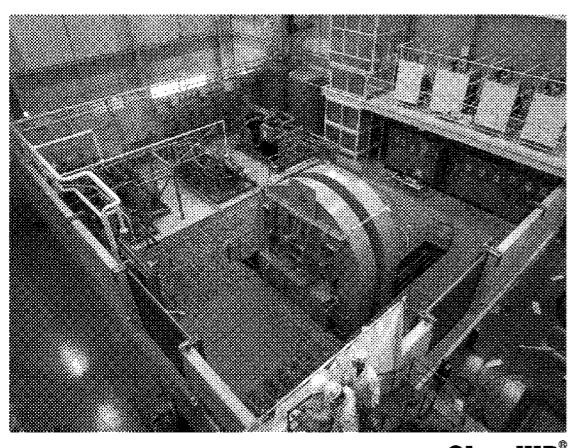
なか、国内で生産を進めていくということですね。

実現するのが私の仕事だと思います。
井水 素晴らしいお考えですね。
後藤 そのためには製品の性能、品質がまず基本になります。特に精密、微細的にを絞り、小径工具の専門メーカーとして事業展開を考えています。そしてエンドミルだけを生産するのではなくからはダメだと思っています。今後はトータルソリューションを考え、マシニングセンターやCAD/CAM、ツーリングなどの各企業や大学、研究機関などと協力して新しい加工技術についても提案していくべきだと思います。

のモノづくりに大きな影響を与えました。新興国はダメです。そのようななか、日本は他国でできない先端技術をベースにしたモノづくりを行つていかなければ生き残るのは難しいと思います。

各社が大手企業からコストダウンを求められています。最近の円高の影響で、モノづくりは一段と厳しい状況になってしまいます。政府には景気対策的に企業の体力を強化し、雇用を拡大するための施

2010年は金属技研にとって創立50周年を迎え、さらには世界最大級HIP装置 **Giga-HIP®** を稼動させた記念すべき年でした。しかし金属技研のモノづくりへの挑戦はこれで終わりません。



今年は千葉に新工場を開設し、
本格的にHIPテクノロジーを活用した
航空機部品のリペア技術の開発に挑戦していきます

次の50年へ向けて
金属技研はHIPテクノロジーをはじめとする
高い技術力をもって、社会・人・くらしへの貢献を通じ、
皆様に愛され、信頼される企業を目指し、たゆまぬ努力を続けてまいります。

MTC
Metal Technology Co., Ltd.

金属技研株式会社

本社／〒164-8721 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 27 階 TEL：03-5365-3050(代) FAX：03-5365-3051
群馬工場／茨城工場／神奈川工場／滋賀工場／姫路工場／テクニカルセンター／上海連絡事務所

ぜひホームページをご覧下さい

金属技研

七

卷一

www.kinzoku.co.jp